

令和 7年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 金融課
 担当名: 企画・制度融資担当
 内線: 3803

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P49	中小企業制度融資損失補償費			一般会計	商工費	商工業費	金融対策費	中小企業制度融資事業費	
事業期間	昭和47年度～ 令和25年度	根拠 法令	なし			針路 分野施策	11 1102	稼げる力の向上 変化に向き合う中小企業・小規模事業者の支援	SDGsゴール 8 SDGsターゲット 8-3
1 事業概要 中小企業者に対する県制度融資は、金融機関からの融資に埼玉県信用保証協会の保証を付するものである。 融資を受けた中小企業者が返済不能となった場合、信用保証協会は債務保証契約に基づき金融機関に対して代位弁済を行うため、損失を被る。 そこで、リスクの高い資金について県がその損失の一部を補償することで信用保証をつけやすくし、中小企業者の金融の円滑化を図る。 中小企業制度融資損失補償費 △302,717千円				5 事業説明 (1) 事業内容 損失補償契約に基づき、県が埼玉県信用保証協会の損失の一部を補償する。 損失補償額：770,679千円 (2) 事業計画 令和6年度において埼玉県信用保証協会が代位弁済した案件について、損失補償契約に基づき損失補償を行う。 (3) 事業効果 県が埼玉県信用保証協会の損失を一部補償することにより、中小企業者の金融の円滑化を図ることができる。 【活動指標(アウトプット)】 融資枠及び融資利率 【成果指標(アウトカム)】 融資実行額、融資件数及び埼玉県四半期経営動向調査資金繰りDI (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 金融機関と埼玉県信用保証協会との連携により、代位弁済の抑制を図っている。 (5) 補正予算の概要 信用保証協会による代位弁済額が見込みを下回ることによる減額					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 普通交付税(単位費用)(款)商工行政費 (細目)中小企業振興指導費(細節)中小企業金融対策費									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.8人=17,100千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△302,717							△302,717	467,962
現計額	770,679							770,679	

事業内訳書

事業名	中小企業制度融資損失補償費		
単位事業名	中小企業制度融資損失補償費（指定経費）	予算額	△ 302,717千円

○歳入

（単位：千円）

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△302,717	—	
合計	△302,717	—	

○歳出

（単位：千円）

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
補償、補填及び賠償金	△302,717	—	信用保証協会による代位弁済額が見込みを下回ることによる減額
合計	△302,717	—	